

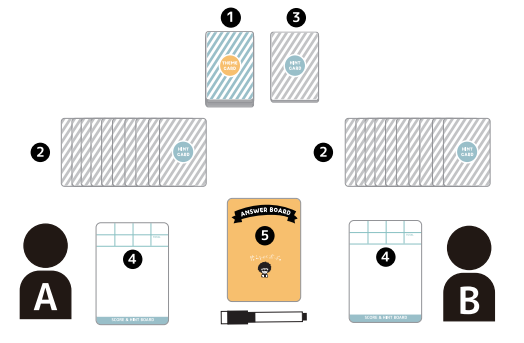
# game lab nicota よりお詫び



2022年に発売いたしましたボードゲーム「違う。そうじゃない」につきまして、パッケージ及び説明書等のプレイ人数表記に誤りがございました。表記には「2人～7人用」とございますが、説明書ルールは「3人～7人用」になります。大変申し訳ございませんでした。あと付けではございますが、現在の内容物で2人で遊べるルールを考えました。本紙を2人用ルールの説明書として追加していただくと幸いです。

## 「違う。そうじゃない」2人プレイ用ルール

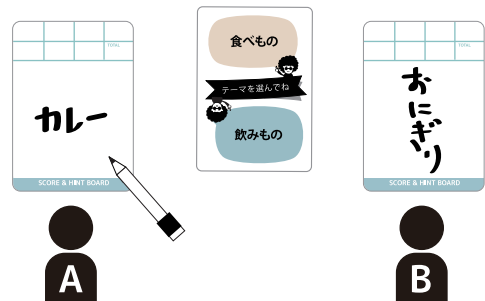
### ゲームの準備



- 1 テーマカードは裏向きにひとまとめにして、山札にしておきます。
- 2 ヒントカードは裏向きで2人に10枚ずつ配ります。
- 3 あまったヒントカードは裏向きにして山札にしておきます。
- 4 マイボードも2人1枚ずつ配ります。
- 5 こたえボードは2人用の場合、「ヒントを描くボード」として2人で使用します。

### GAME START

- 1 テーマカードを一枚ひき、どちらのテーマですめるかを相談してきめます。
- 2 テーマが決まったら、それぞれテーマにそった答えを考え、答えを手元のマイボードに書いておきます。
- 3 記入後のマイボードは相手にわからないように伏せておきます。



- 4 じゃんけんで先攻後攻をきめ、じゃんけんで勝ったプレイヤーは手元のヒントカードから1枚をえらび、相手に質問します。



- 5 答える側は、ヒントカードに記された2択の質問から当てはまる方を選びます。

- ※ 選ばれたヒントカードは、▼を手前にして質問者の前に並べます。
- ※ どちらにも当てはまらないヒントカードは「あてはまらない」ことを質問したプレイヤーに告げて捨て場へ移動させます。

(例) ヒントカード: 「好き」or「嫌い」の場合

「当てはまるのは、好きか嫌いどっち?」

※ 答え方は本体の説明書を参考にして下さい。



- 6 質問者と答える側を交替し、同様の流れで質問と解答を繰り返します。

- ※ 手札に質問につかえそうなヒントカードがない場合、1ゲーム3回までヒントカードの山札を使って質問することができます。
- ※ 相手のマイボードに記された答えがわかったプレイヤーは、1ゲーム3回まで解答することができます。解答は1ヒントにつき1回しかできません。



- 7 見事正解したプレイヤーは、質問に使用したヒントカード(捨て場へ移動したヒントカードは含めない)の枚数を数え、1枚1ポイントとし合計ポイントをマイボードへ記入します。

- ※ 3回の解答権をつかっても正解できない場合、マイボードへ10ポイントを記入します。



- 8 7回戦の合計ポイントでポイントが少ないプレイヤーの勝利となります。